

「かわさきプロボノサミット 2025」初開催

初めの一步はプロボノで ～産官学で共創するカワサキの未来社会～

川崎市では、市民、団体、企業、大学など多様な主体との協働による市民自治の「まちづくり」を推進しています。その一環として、社会貢献や地域貢献、ボランティア活動に関心のある市民と、運営上の課題を抱える地域団体（NPO 法人、市民活動団体、町内会・自治会等）とのマッチングを行い、チームで課題解決に取り組む短期型プロジェクト「川崎プロボノ部」を運営しています。

このたび「川崎プロボノ部」では、NEC プロボノ倶楽部、富士通プロボノ部など、川崎市内でプロボノ活動に取り組む団体と連携し、オンラインイベント「かわさきプロボノサミット 2025」を開催いたします。

初開催となる本イベントの参加者を広く募集いたしますので、ぜひ御参加ください。

Ⅰ 趣旨

本イベントでは、川崎プロボノ部、NEC プロボノ倶楽部、富士通プロボノ部といったプロボノ活動グループに加え、川崎市内に所在する専修大学など地域で活動している団体が登壇し、各団体がそれぞれの視点からプロボノの価値や成果を発表、活動の発展・拡大に向けた課題や今後の可能性について、参加者とともに考える機会とします。

Ⅰ 概要

- ・開催日時：令和 7 年（2025 年）9 月 1 日（月）午後 5 時～午後 7 時
- ・開催方法：オンライン（Zoom）※事前申込制
- ・申込方法：以下の WEB フォームまたは二次元コードからお申し込みください

👉 <https://kawasaki-probono-summit.studio.site>

- ・主催：NEC プロボノ倶楽部
- ・共催：川崎市、富士通プロボノ部、専修大学、NEC



お申込はこちらから

I 予定プログラム

1. 川崎市の紹介：川崎市の概要／川崎のまちづくりとプロボノ

2. 基調講演

－ 登壇者：藤沢 久美 氏（国際社会経済研究所 理事長）

－ テーマ：プロボノによるインパクト

プロボノ等を通じた企業・行政・教育機関など地域の活動団体の連携・協働が、プロボノを推進・参画する各組織や個人、地域社会にとってどのようなインパクトを創出するのか？さらにはデジタル化社会の中でどのような可能性があるのか？様々な事例を踏まえて解説。

3. パネルディスカッション

－ テーマ：「プロボノの価値、今後の課題と展望」

－ パネリスト：川崎プロボノ部、NEC プロボノ倶楽部、富士通プロボノ部、
専修大学 ほか

－ モデレーター：藤沢 久美 氏（国際社会経済研究所 理事長）

I プロボノとは

「プロボノ(Pro Bono)」とは、ラテン語の「Pro Bono Publico(公共善のために)」を語源とし、職業上のスキルや経験を活かして社会的・公共的な目的のために取り組む社会貢献活動を指します。

ボランティア活動の一種であり、公的機関や企業、マッチングサイト等を通じて様々な形で実施されています。

プロボノ活動への参加者にとっては、地域貢献やスキル・キャリアの棚卸の機会となり、支援を受ける非営利組織にとっては、課題の整理・解決や基盤強化につながる有意義な取組です。

<問合せ先>

川崎市市民文化局コミュニティ推進部

協働・連携推進課 久保

電話：044-200-2017